厚木ロータリークラブ週報

JAPAN　第2780地区　Atsugi Rotary Club Weekly

会長　会田義明
副会長　西迫哲
幹事　髙橋浩
副幹事　十亀健志
会報・IT　栗原良幸

世界へのプレゼントになろう

2015～2016　国際ロータリー会長　K.R. "ラビ" ラビンドラン

例会場　厚木商工会議所 5F　大会議室
例会日　毎週火曜日　12：30～
事務所　厚木市栄町1丁目16番15号　厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp　メールアドレス info@atsugi-rotary.jp　TEL.046-222-5811　FAX.046-222-5821

第2700回例会（5月17日）☆司会　鈴木茂男 副SAA

点鐘　…会田義明会長

斉唱　…我等の生業

ビジター紹介

RI第2780地区 2015～16年度 第6グループ
ガバナー補佐 志村　昌様（海老名RC）

RI第2780地区 2016～17年度 第6グループ
ガバナー補佐 石井　卓様（厚木県央RC）

会長報告

◎ガバナー事務所　より
・会員増強・会員維持委員会より
・「ソウル国際大会ご出発前にウェビナーにご参加ください」
・クラブ会員研修についてのアンケート集計結果
・次年度地区会員増強・維持セミナー開催のご案内
・規定審議会の報告について

◎公益財団法人ロータリー米山記念奨学会　より
・ハイライトよねやま194

◎奨学生　石塚愛さん　より
・近況報告

幹事報告

◎週報
・相模原南RC

◎例会変更
・大和RC
5月24日（火）→　夜間例会へ振替
点鐘　18：30　場所　北京飯店

委員会報告

◎職業奉仕委員会
5/21（土）厚木ロータリークラブ主催の市民向け無料相談会を実施します。皆様からの相談も受付けますので参加して頂ければと思います。

◎ロータリー財団委員会
ロータリー財団及び米山奨学事業への寄付金のご協力、是非お願い致します。

スマイル

第6G AG 志村　昌様（海老名RC）
1年間お世話になりました。本日は次年度ガバナー補佐の石井卓（たかし）さんをご紹介にまいりました。私同様、石井さんのご支援よろしくお願い致します。

石井　卓様（厚木県央RC）
本日ご挨拶に伺いました。厚木RCの皆様、次年度ご協力よろしくお願いいたします。

今日のお祝い　「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

＊会員誕生日
畑中雄太君（29日）

＊夫人誕生日
國方達央君（秀子夫人24日）

今日の例会（2016年5月24日）

「創立55周年記念例会」
担当：会田義明会長

次回の例会（2016年5月31日）

「未定」
担当：前田賢一君

世界へのプレゼントになろう

会田義明会長・西迫　哲副会長

髙橋　浩幹事

志村ガバナー補佐、石井次年度ガバナー補佐、本日は足元のお悪い中、厚木クラブの例会へようこそおい出下さいました。どうぞゆっくりとお過ごし下さい。

吉岡　敏君

志村ガバナー補佐、お疲れ様でした。もう少しで完走ですね。残り約1ヶ月愉しんで下さい。石井次年度ガバナー補佐、宜敷くお願いします。

壽永純昭君

志村AG、一年間大変御苦労様でした。ソウルで待ってます。石井次年度AG、準備最後の一ヶ月が大変です。健康に留意してガンバッテください。

小林　透君

石井卓次年度ガバナー補佐、ようこそ厚木RCへ。来年はよろしくお願いします。がんばって下さい。

髙橋　宏君

本日は2700回例会です。区切りのいい日に、SAAを担当させていただいてありがとうございます。後1月ちょっと会場監督の御協力お願いします。

和田勝美君

畑中さん、初！スマイル発表おめでとうございます。ガツンとやって下さい。

内山全浩君

事業所開設のお祝いありがとうございました。末永いお付き会いお願いいたします。

小坂井秀勝君

先日は新入会員の歓迎会を開催して頂きありがとうございます。

今日のお花

ホタルブクロ（壽永純昭君）

例会「出版の未来、書店の未来」

担当：石村哲也君

2015年「紙出版物の推定販売額」は、2014年比5.3％減の1兆5220億円だった。減少率は1950年に調査を始めてから過去最大。とくに稼ぎ頭の雑誌の落ち込みが深刻で、出版市場は底入れの兆しが見えていない。前年からの1年間で850億円の売上を失った。紙出版物が前年割れとなるのは11年連続。減少率は14年の4.5％減を上回り、過去最大だ。書籍は240万部を超える大ヒット作となった又吉直樹氏の「火花」などに代表される文芸書が比較的好調で前年比98.3％の7419億円にとどまったが、雑誌は同91.6％の7801億円と大きく落ち込んだ。雑誌販売衰退に歯止めがかからない状態だ。

市場のピークは1996年の2兆6563億円で、その年の市場規模に比べると4割以上落ち込んだことになる。

一方、電子出版の市場規模は1502億円で、2014年比131.3％と大きな伸びを示した。

1999年から 2015年までに 8,808軒の書店が減少し2015年現在134,88店。17年間の減少平均を出すと、518件になります。

実際の書店の数はもっと少ないといわれています。本部や営業所、外商のみの本屋も含んだ件数になります。とりわけ、昔は本屋として営業していたけど、今は店舗としては営業せず、近辺の小学校や中学校に教科書のみを収めているというケースがあります。これが外商のみの本屋です。実際にお店として開店していませんので、私たちの目にふれることはありません。

ですので、実際にお店があって本が並んでいる、つまり「店売している書店」は、もっと少なくなります。10,800件前後と言われている。

流通を担っているのは出版社、出版取次ぎと言われる卸し、書店の３者だが、それらすべてで経営環境が厳しくなっている。書店の閉店が相次いでおり売上減、残る書店も売上が減っておりそして、本の返品率は4割に達するとされる。本を返品される出版社、返品する際の梱包や物流費用が書店、出版取次ぎの収益を圧迫している。

2015年6月には、取り次ぎ4位の栗田出版販売が法的整理に追い込まれ、今年(2016年)2月業界3位の大阪屋と経営統合。今年3月にはまた業界5位の太洋社が自己破産を申請した。このような状況下、1位の日本出版販売(ニッパン)と2位のトーハンも減収基調に歯止めがかかっていない。

出版業界、なかでも雑誌の不況は、なによりもスポンサーの減少が大きい。「雑誌が売れない」「発行部数が減る」、ゆえに「広告出稿が減る」。「広告収入が減った」出版社は「雑誌を廃刊せざるを得ない」という“負のスパイラル”が2000年以降続いている。

出席報告　＜会員 43 名、出席対象 38 名＞

4 月 26 日例会　　確定出席率 87.50％	5 月 17 日例会　　出席 29 名　欠席 9 名　出席率 76.32％
＜事後メイク＞	＜欠席＞ 十亀健志君・高野昌伴君・前島憲司君・前田賢一君 松原貴樹君・三宅壯平君・髙橋伸一郎君・滝澤　勇君 丸田隆弘君